

認知症の方々を地域で支えるまちづくり

認知症サポーターになろう！

認知症サポーターについてご存知ですか？

厚生労働省が提唱する「認知症サポーター100万人キャラバン」事業。地域で暮らす認知症高齢者の方々を、地域の方々が支える、そのようなまちづくりを実現するために行われています。サポーターは、なにか特別な任務、仕事を背負うことはありません。地域で暮らしてる認知症の方々への理解を示すこと、声を掛けてみることに、それだけです。高齢者人口の増加、それに比例するように認知症高齢者人口も増加傾向にあります。地域で暮らしている認知症高齢者やそのご家族の方々は、意思の疎通や日々の介護、様々な悩みを抱えています。認知症高齢者の方々、そのご家族の方々が地域で安心して生活できるようにすること、それが、サポーター養成の大事な目的の一つになります。

どうすればサポーターになれるの？

相模原市や、地域包括支援センターが行っているサポーター養成講座に参加することでサポーターになることができます。所要時間は概ね60～90分。資格ではないので、特別な試験など一切ございません。受講料は原則かかりません。小学生向け資料もご用意しております。

大野北地域包括支援センターについてご紹介します

高齢者の方々の総合相談窓口として、皆様にご利用頂いております。認知症相談を始め、介護に関わること、様々なご相談に応じております。認知症サポーターの養成講座の開催も積極的に行っております。開催のご相談、参加の申し込み等、お気軽にご相談下さい。



お問い合わせは・・・

大野北地域包括支援センター
相模原市中央区淵野辺1-16-5
TEL 042-768-2195
担当 緒方・永野